

H30年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の特徴	当事業所は総合福祉サービスを展開しており、利用者様の多様なニーズに応えられるように事業展開しております。当施設におきましては、全館バリアフリーとなっております。入浴では特浴・リフト浴・歩行浴もあり、ご利用者様の状態に合わせた入浴支援を行っています。施設の隣は保育園で子供達の元気な声が利用者様を元気にしてくれます。
事業所名	スローライフごち	管理者	涌井 一美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	1人	1人	人	1人	1人	人	4人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	*職員一人一人が事故を起こさないように日頃から意識して多くだして検討して行きます。	*毎月、ヒヤリハットを多く出して、検討会議をしましたが事故は起きてしまいました。	*毎日のようにヒヤリハットが上げられているが日常の介護の中で見えているのはすごい。 *勤務上、宿直者や調理員の理解不足は仕方ないと思う。	*今後もヒヤリハットを多く出し、当日に検討会を開催し、職員に周知して大きな事故に繋がらないようにしていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	*今後も玄関や施設内に季節の飾り付けを行ないます。 *地域の皆さんに不快を与えないように喫煙等、環境の整備に努めます。	*喫煙は、職員と話し合いを持ち対応策を考えました。	*喫煙に対して、職員も自覚を持ち対応しています。	*施設内はもちろん、施設外の環境設備に努め、地域の方にとって気持ちの良い施設にしていきます。
C. 事業所と地域のかかわり	*今後も地域のクリーン活動に積極的に参加していきます。	*地域のクリーン活動に職員は順番で参加しました。	*地域との関わりは弱いと思う。 *毎回、海岸清掃に出てもらっている。今後も継続してほしい。	*今後も地域のクリーン活動に参加して、地域の方より必要とされる施設にいきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	*今年も毘沙門公園の花壇に花を植えさせて頂きます。以前よりお話があった花壇の拡張に取り組みます。	*毘沙門公園の花壇を拡張し、花の苗を植えました。	*毘沙門公園で水やりや作業をしていると地域の方に「きれいだね」「ありがとう」と声を掛けて頂くことが多くなった。	*今後も毘沙門公園に花を植えて、地域の憩いの場にします。
E. 運営推進会議を活かした取組み	*今後も運営推進会議の議事録を配布して、ご家族に施設の様子を伝えていきます。 *今後も地域ケア会議に参加、地域の困難事例等を検討して役割を果たします。	*運営推進会議の議事録を配布して理解を得る事ができました。 *地域ケア会議に参加しましたが職員の理解はまだ少ないと思う。	*運営推進会議の内容がヒヤリハット中心になっている。 *運営推進会議では、地域の心配な方の困難事例検討は出来ていません。	*今後は運営推進会議や地域包括ケアに、職員も参加して地域ケア会議の理解を深めていきます。
F. 事業所の防災・災害対策	*H30年度も施設の年2回の防災訓練実施を行ない、町内会に参加して頂けるように取り組みます。また、町内会の防災訓練に参加、今後も協力体制を取っていきます。	*年2回の防災訓練を実施、町内会からも参加して頂くことができました。	*施設は地域の防災訓練に参加、施設の防災訓練に町内会より参加して頂いている。	*今後も施設は、災害時福祉避難所を開設して地域に貢献していきます。 *今後も防災訓練を実施して、町内会と協力体制を取っていきます。